

大河原町 都市計画マスタープラン
パブリックコメント結果と回答について

●実施概要

- ・計画名 「大河原町都市計画マスタープラン（案）」
- ・意見募集期間 令和元年6月3日（月）～令和元年6月28日（金）
- ・意見を提出できる方 町内に住所を有する方、町内に事務所又は事業所を有する方、町内に勤務・通学している方
- ・意見提出者数 1名

番号	パブリックコメント意見	回答
No. 01	<p>第6章都市づくりの方針 3. 交通施設整備・保全および見直し方針の表 6-3 道路の整備・保全および見直し方針の内容について伺います。</p> <p>①主要地方道亙理大河原川崎線の（都）末広線として都市計画決定している区間に JR 東北本線との交差部の方針が示されており、事業費や実現性の観点から高架化について見直しを行うこととしているが、「道路構造の見直し」とは具体的にどのような見直しが想定されるのでしょうか。また、「現道への振り替え」とはどのようなもののでしょうか。周辺の環境を考慮すれば、現状の道路環境を維持するのがベターではないかと思えます。</p> <p>②同じく、主要地方道亙理大河原川崎線の（都）末広線として都市計画決定している区間について、「道路改良の実施可能な区間から段階的に拡幅を検討」することとしており、図 6-3 においてイメージが示されていますが、計画されている全ての区間における拡幅の達成は長期間を要することが予想されます。今後の少子高齢化、人口の増減を考慮すれば、その必要性自体が無くなってしまいう可能性が高いと思えます。段階的に拡幅をし、でこぼこな幅員の道路になってしまわないよう、段階的な道路改良ではなく、ある程度の区間において、全体的な目途が立ったうえで、拡幅を行うべきではないでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 交通施設整備・保全および見直し方針について回答します。</p> <p>①に対する回答 主要地方道亙理大河原川崎線は、JR 東北本線と立体交差する構造で末広線として都市計画決定されておりますが、長年の間、事業に未着手となっています。 今後、事業の必要性や実現性の観点より、計画（道路線形、道路幅員、JR 東北本線との立体交差等）通りに整備した場合や、既存道路として維持する場合を比較するなど、都市計画道路の見直しを検討します。</p> <p>②に対する回答 都市計画道路の整備にあたっては、ご指摘のとおり一定の区間を事業区間とすることを検討します。 図 6-3 については、修正いたします。</p>